

近畿中部



近畿中部防衛局管内図
青色部分（東海支局管内）
2府7県の防衛に関する情報誌



「近中くん」
近畿中部防衛局のマスコットキャラクター
生年月日：平成 19 年 9 月 1 日（防災の日）
出身：近畿中部地方
名前：近中くん（きんちゅうくん）
職業：徳し業
宝物：手作りのまが玉札
趣味：野球観戦（タイガース、ドラゴンズ、オリックス）
特技：たこ焼き、きしめんの早食い

近畿中部防衛局広報誌

2017
4 - 6 月号



水際地雷敷設車（写真提供：和歌山駐屯地広報）

目次

部隊紹介～陸上自衛隊和歌山駐屯地	2～3
福井市での防衛ミニセミナーの開催	4
潜水艦「せきりゅう」引渡式・自衛艦旗授与式	5
米軍経ヶ岬通信所の動き	6
近畿中部防衛局からのお知らせ	7
なるほど防衛豆知識～「わが国の弾道ミサイル防衛（BMD）とは？」	8

部隊紹介 ～陸上自衛隊和歌山駐屯地～

駐屯地（部隊）の概要

和歌山駐屯地は、紀伊半島の西端、紀伊水道の南に位置し、駐屯地のある美浜町は、人口 8 千人、漁業と農業が主体の静かな町で、全国でも珍しい地引網漁が「煙樹（えんじゅ）ヶ浜」で行われています。

駐屯地は浜から約 300m 離れた松林（環境庁指定の公園&防潮堤の保安林）の中にあり、広さ 200m×80m の敷地は、日本で一番狭い駐屯地です。

創設は昭和 37 年、信太山駐屯地（大阪府和泉市）の分屯地がここに設けられ、第 323 地区施設隊が発足し、その後新編・編成を経て、平成 16 年に第 304 水際障害中隊を基幹とする部隊が新編され現在に至っています。



駐屯地周辺の概観



第304 水際障害中隊

「水際障害中隊」とは、海上からの侵攻を阻止するため、水際地雷敷設車（水陸両用タイプ）を使用し、海岸・水際部（しゅうてい）に對舟艇用の地雷・障害を敷設する施設科部隊です。現在、同様の中隊が全国に 5 個あり、第 301 中隊は宮城県・船岡駐屯地、第 302 中隊は北海道・南恵庭駐屯地、第 303 中隊は福岡県・小郡駐屯地、第 304 中隊は和歌山県・和歌山駐屯地、施設教導隊水際障害中隊は茨城・勝田駐屯地にそれぞれ配置されています。

水際障害中隊の主要な装備は、水際地雷敷設車、船外機付き偵察用ボート・渡河ボート、海浜から海面までを整備するドーザー・グレーダー・バケット・道路マット、大型ダンプ。

水際地雷を運ぶ大型トラック、それを積載する大型クレーンなどです。

水際障害中隊は、水際地雷の敷設だけでなく、鋼矢板を打ち込む水際障害の構成や、築城訓練も実施し、多様な施設技術の練度向上に努めています。



94 式水際地雷敷設車

（水際地雷を敷設する水陸両用車）

【諸元】

全長	11.8 m
全幅	2.8 m (海上航行 4.0 m)
全高	3.5 m
重量	16 t (空車時)

煙樹ヶ浜での訓練状況

もぎじらいそうてん (模擬地雷装填)



もぎじらいふせつ (模擬地雷敷設)



地域との交流



サマーフェスタ



煙樹ヶ浜海岸清掃

和歌山駐屯地司令紹介



和歌山駐屯地司令 外園 2 等陸佐

平成 29 年 3 月 23 日付で着任しました和歌山駐屯地司令の外園浩幸（ほかぞのひろゆき）2 等陸佐です。和歌山駐屯地は、昭和 37 年 10 月に創設され、地域とともに発展し、地元の部隊として良好な環境を築いてきた駐屯地です。

今後も、「絆」を旗印に「地域に頼りに（信頼）される活力ある駐屯地」を目指し、地域住民と駐屯地がより一層共存し合えるよう努力して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

福井市での防衛ミニセミナーの開催

3月4日（土）、福井県福井市の福井商工会議所において、平成28年度防衛ミニセミナーを開催しました。

防衛ミニセミナーは、地域の影響力となるオピニオンリーダーの方々を対象に、防衛政策などについてより理解を深めていただくとともに、地域住民の方々への情報の二次発信を期待することを目的とした施策です。

当日は、当局の城戸^(きど)次長より「周辺国の情勢と我が国の防衛政策」、防衛研究所の渡邊主任研究官より「北朝鮮情勢」についての講演の後、村上自衛隊福井地方協力本部長を交え、福井青年会議所の方々とディスカッションを行いました。

ディスカッションでは、活発な意見交換が行われ、大いに盛り上がり、参加者からは「まさにタイミングの良いテーマであり、新たな視点で学ぶことが出来た良い機会であった。」などのご感想を頂戴しました。

当局では、今後とも、一人でも多くの方々に我が国の安全保障環境や周辺国の情勢等について考えていただける一助となるようなセミナーを数多く開催すべく、より良いイベントを企画してまいります。



城戸次長による講演



防衛研究所 渡邊主任研究官による講演



意見交換会の様子



潜水艦「せきりゅう」 引渡式及び自衛艦旗授与式

3 月 13 日（月）、川崎重工業株式会社神戸工場（神戸市中央区）において、潜水艦「せきりゅう」の引渡式及び自衛艦旗授与式が関係者約 300 名の列席の中行われました。

引渡式にて、建造を担当した同社の金花代表取締役^{（かねはな）}から防衛省代表の若宮防衛副大臣へ「引渡書」等が授受されました。引き続き行われた自衛艦旗授与式では、横須賀音楽隊中川海士長が儀礼曲「海のさきもり」を独唱する中、副大臣から艦長へ、艦長から副長へ「自衛艦旗」が手渡されました。

その後、横須賀音楽隊の軍艦マーチにあわせて自衛艦旗を捧持した副長を先頭に乗員が艦上に整列後、艦長及び視察のため副大臣等が乗艦し、準備が整うと国歌吹奏にあわせて自衛艦旗が艦尾旗竿^{（はたさお）}に掲揚されました。

式典等の終了後「せきりゅう」は関係者の見送る中、所属となる呉基地（広島県）へ向け出港していきました。

「せきりゅう」は 5 年の歳月を要して建造された「そうりゅう型」と呼ばれる最新鋭潜水艦の 8 番艦であり、長時間の潜航^{（せんこう）}を可能とする非大気依存型推進（AIP）システムを搭載し、水中運動性能が高い「X 型」かじを備えています。



若宮副大臣から自衛艦旗を授与される渡邊艦長



授与された自衛艦旗の初掲揚



潜水艦「せきりゅう」乗員に訓示する若宮副大臣



潜水艦「せきりゅう」の出港見送り

米軍経ヶ岬通信所に関する動き

○交通安全に対する取組 ～第11回交通安全講習会を開催～

4月13日（木）、当局と京丹後警察署は、京丹後市網野町^{（あみの）}の網野自動車教習所の御協力をいただき、経ヶ岬通信所に勤務する米軍関係者を対象とした交通安全講習会を開催しました。

今回の講習会では、初めて、日本での車の運転に関する基本事項に重点を置いた講習を実施しました。

具体的には、実車講習で日本車の操作方法を確認することから始め、教習コース上にカラーコーンを用いて狭い道の走行を練習するとともに、慎重な運転を徹底するよう注意を呼びかけました。

座学講習では、日本の交通ルールや基本的な標識の意味について、京丹後警察署より英語で講義を実施していただきました。また、今回は、参加者に対して本交通安全講習会や日本での運転に関するアンケートを行い、「実車コースは日本の交通事情をよく再現しており、実践的な内容であった。」などの声が多く寄せられたところです。

当局では、このアンケートの結果も踏まえて、今後とも、地元の京丹後警察署と連携して、交通事故防止に資する効果的な講習会を実施してまいります。



経ヶ岬通信所司令官による開会のあいさつ



座学講習にて標識の意味などを指導



カラーコーンを使用し狭い道での運転を練習



近畿中部防衛局からのお知らせ

(せいか)

京都府精華町消防庁舎竣工式に出席

3月22日(水)、京都府精華町が民生安定助成事業により施設整備した、消防本部消防庁舎の竣工式が開催されました。

竣工式には、木村町長をはじめとする多くの関係者の方々が出席され、当局からは藤代局長が出席して祝辞を述べ、施設の完成を祝いました。

本施設は、精華町のビジョンのひとつである「安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり」を推進する目的において、災害時の活動拠点となり、消防・防災活動を担っている消防庁舎(鉄筋コンクリート造2階建て、一部鉄骨造の延べ床面積2,459.45㎡)を整備、近年採用が進んでいる女性消防職員の専用スペースを設置し、さらに、高齢者や障害のある住民の方々等に対応した施設となっています。

当局としては、今後とも防衛施設周辺の住民の方々の生活環境の改善のための各種施策の実施に取り組んで参ります。



祝辞を述べる藤代局長



庁舎外観



消防車両配備状況

業務紹介～調達部装備課

調達部装備課は、自衛隊で使用する潜水艦や航空機等の防衛装備品から靴下等の消耗品まで、幅広い調達に関する業務を行っています。

業務の内容には、大きく次の3つの業務があります。

①契約先企業が行う防衛装備品等の原価計算が適正かどうかの監査

②契約先企業が行う防衛装備品等の生産状況の監督及び納入品の検査

③契約先企業内における秘密文書等の管理が適正かどうかの検査又は監査

このように、企業と密接に関わり調達業務を行うため、本局のある大阪合同庁舎以外に契約先企業内、又は契約先企業に近い場所に事務所を4箇所設置しており、70名を超える職員が分散して勤務しています。

また、実際に自衛隊で使用する防衛装備品等の調達を行うため、専門的な知識を有する自衛官が多数所属していることも、事務官等でほぼ構成される当局の他の課とは異なる特徴となっています。



執務室の様子



なるほど防衛豆知識

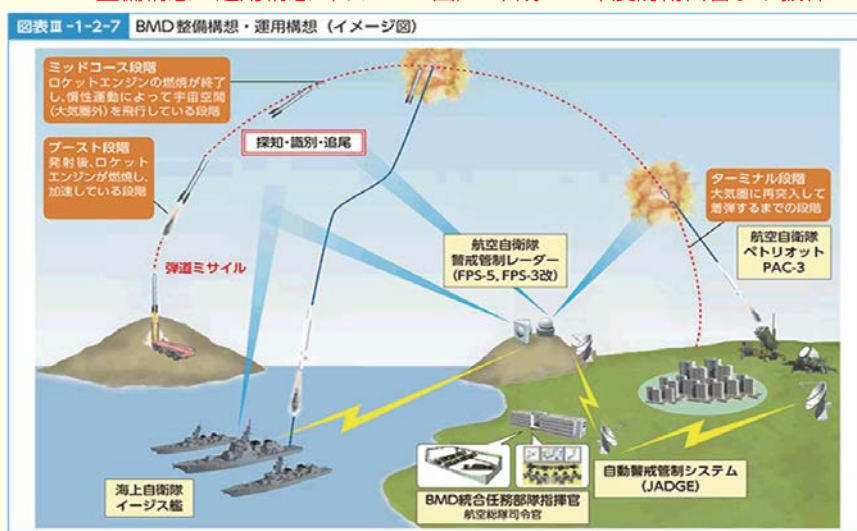
質問：わが国の弾道ミサイル防衛（BMD）とは？

回答：

わが国は、弾道ミサイル攻撃などへの対応に万全を期すため、平成16年度から弾道ミサイル防衛（BMD）システムの整備を開始しました。わが国の弾道ミサイル防衛は、海上自衛隊のSM-3搭載イージス艦による上層での迎撃と航空自衛隊のペトリオットPAC-3による下層での迎撃を、自動警戒管制システム（JADGE）により連携させて効果的に行う多層防衛を基本としています。わが国に武力攻撃として弾道ミサイルなどが飛来した場合には、武力攻撃事態における防衛出動により対処します。一方、わが国に弾道ミサイルなどが飛来する場合に、武力攻撃事態が認定されていないときには、迅速かつ適切な対処を行うこと及び文民統制を確保することを十分考慮し、防衛大臣は、弾道ミサイルなどを破壊する措置をとることを命ずることができます。

弾道ミサイルなどへの対処にあたっては、航空自衛隊の航空総隊司令官を指揮官とする「BMD統合任務部隊」を組織し、JADGEなどを通じた一元的な指揮のもと、効果的に対処するための各種態勢をとります。また、弾道ミサイルの弾着などによる被害には、陸上自衛隊が中心となって対処します。昨今の北朝鮮が弾道ミサイル開発全体を一層進展させていることを踏まえ、引き続き、米国の先進的な取組や装備品などを研究しつつ、防衛計画の大綱などで示された、わが国の弾道ミサイル対処能力の総合的な向上についての取組及び検討を加速していきます。

BMD 整備構想・運用構想（イメージ図）：平成28年度防衛白書より抜粋



■ ご意見・ご感想等募集 ■

近畿中部防衛局では、今後も防衛省・自衛隊の様々な活動や当局の取り組みなどを皆様に分かりやすくお知らせしていきたいと考えております。

本誌に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構です。お聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

（住所）

〒540-0008

大阪市中央区大手前4丁目1-67

近畿中部防衛局

広報編集委員会（報道官気付）

（電話・FAX）

TEL 06-6945-4953

FAX 06-6910-5669

（メールアドレス）

goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先

TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2017年4-6月号（通算第47号）

平成29年6月発行

近畿中部防衛局
広報編集委員会

TEL 06-6945-4953

URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

近畿中部防衛局広報誌「近畿中部」は、近畿2府4県及び北陸3県所在の自治体、大学図書館及び公立図書館などに無料で配布しています。ご希望があれば、他の機関へもお届けしますので、お気軽にご連絡ください。